

まちの偉人がまたひとり

稲田元町長が逝去



元町長 稲田正治氏（八十六歳）が十一月二十七日ご逝去されました。

昭和二十三年七月より助役として町政に参画、昭和二十六年四月より町長として当選され、以後連続四期当選。この間、戦後きわめて困難な条件のもとで安定した農林漁業基盤の諸施策、道路整備の充実あるいは台風・水災害に備えた三隅川の護岸拡幅、浚せつ工事等の大事業を確実に行われてきました。

また本町のまちづくりの基盤となるところの新生運動への取り組み、社会教育の普及向上、更には公民館活動の振興施策は多くの成果が得られ、行政推進に多大な貢献をいただきました。

また一方では、山口県の町村会会長を務められ、全国町村会理事としても常に情熱をもって地域産業の発展にご尽力をいただきました。ここに謹んでおくやみを申し上げ、ご冥福をお祈りいたします。

第1換地区権利者会議終わる

～ 県営圃場整備事業 ～

県営圃場整備事業三隅地区第一換地区（権利者総数五八六名、地区面積二五一・二ヘクタール）の換地会議が、十一月十一日（日）、農業者トレーニングセンターで開催されました。会議には五八六名の権利者のうち委任状出席を含む四九四名が出席、議長に兼頭勉さん（下中小野）を選任し、第一換地区の換地計画が原案どおり承認されました。

事業開始以来十六年



熱心に資料に見入る権利者



を經過した県営圃場整備事業は、今後計画確定のため諸手続きを経て換地処分登記が行われ一人ひとりの権利が確定することになります。なお、第二換地区につきましても換地会議開催に向けて、現在急ピッチで作業が進められています。



会員へ菊づくりのお話を

今年も咲き誇る大輪の菊花

秋晴れに恵まれた十一月一日、老人クラブ連合会長（中野市江）宅において明和苑生、清風園生、そして老人クラブの会員による大輪の菊花（約百鉢）の観賞会が行われました。

大輪菊は、会長自らが丹精を込めて昨年の暮れから土づくり、苗づくりをされています。毎年秋には、見事な花を咲かせ、ふるさとまつりでの展示、役場、トレセン等への環境づくりにと積極的取り組みがとっております。今年もありがとうございます。